

平成30年度 事務事業評価表 A（平成29年度の実績評価）

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

Table with columns: 事務事業名 (児童生徒に対する安全確保推進事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助, 継続, 単独), 担当 (事務事業No. 020103000145), 政策体系 (総合計画の施策名 0201 学校教育の充実), 予算科目 (01 10 01 02 02 00), 事業期間 (単年度繰返し (平成17年度~)), 法根拠

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要. Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on safety measures for school routes and disaster prevention.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 main columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for school route inspections, disaster training support, and target numbers.

(3) 投入量（事業費）の推移

Table showing expenditure details. Columns: 28年度 (実績), 29年度 (実績), 30年度 (計画), 期間限定総投入量. Rows include National Treasury, Local Government, and Personnel costs.

Table comparing actual performance of 29th fiscal year with the budget for 30th fiscal year. Columns: 29年度事業費 実績 (千円), 30年度事業費 予算 (千円), 合計. Shows a total of 0 for both years.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content. Columns: 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes a note to enter content by year and a list of main activities like the Mayor's Manifesto and P-J projects.

事務事業名	児童生徒に対する安全確保推進事業	事務事業No.	20103000145	所属課	学校教育課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 児童生徒の登下校時などの安全確保を目的として、学校安全ボランティアの参加促進や不審者情報の提供を毎年行っている。 平成27年度に通学路交通安全プログラムを策定し、関係機関と連携して安全対策を実施している。 東日本大震災を契機として、県の防災力強化推進事業の一環で学校の防災力強化のため防災訓練の実施支援や研修会を実施していた（H27年度終了）	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 通学路における危険箇所については早急な対応を求められる。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 学校と教育委員会の連携、そして教育委員会と市役所や警察・消防などとの連携・調整が必須になる。しっかり連携をとるとともに、実施についてスピード感を持って取り組む必要がある。	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 通学路の安全対策や防災教育の支援を行うことで、児童生徒の安全確保、教育環境の整備に結び付いている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒の安全確保は市が行うべき業務である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 学校防災推進委員会の会議や防災研修会の時期を早めに設定することで、目的の共有や振り返りの実施などより効果的に行うことができると考えられる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童生徒の安全確保は最重要であり、事業廃止は考えられない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない この事業に対しての事業費はなく、必要に応じて各担当課の予算により危険箇所の対策を行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 児童生徒が安全に通学できることであるので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 通学路の危険箇所については継続して対策を取ってきていることもあり、未対応箇所は減少しているが、0箇所になるように引き続き対応していく。																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 引き続き、子どもたちの安全確保のため通学路の安全点検を行い、関係課や警察などと調整会議を実施する。 桃山学園が開校し、児童が通うようになったが、狭隘の道路等が通学路となっている箇所があるので、危険箇所の対応策を、関係機関とともに対応していく。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	①																					
		コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認